

第3学年 図工科		
教科 目標	(1) 進んで表したり見たりする態度を育てるとともに、つくりだす喜びを味わうようにする。 (2) 材料などから豊かな発想をし、手や体全体を十分に動かせ、表し方を工夫し、造形的な能力を伸ばすようにする。 (3) 身近になる作品などから、よさや面白さを感じ取るようにする。	
評価 方法	行動観察・作品評価・学習カードなどを用いて総合的に評価する。	
月	題材名	主な学習活動
4月	絵に表す 大すき自分の線と色／ひとふでクレヨン カラフル絵のぐ	<ul style="list-style-type: none"> ● 多様な線の形や色の違いをとらえ、そのよさや面白さを感じ取る。 ● 隣に塗った色と合う色はどのような色か考え、色づくりを試しながらかく。 ● 一筆書きでかいた形に好きな色を塗ったり、色づくりをしたりして、水彩絵の具の扱いに親しむ。 ● 水彩絵の具の基本的な使い方を確かめる。 ● 様々な形の線を考え試しながら、クレヨン・パスを使い一筆書きでかく。
5月	造形遊びをする 広がれつながれ 絵に表す こんなことがあったら	<ul style="list-style-type: none"> ● ポリ袋の形や色、使い方などについて話し合う。 ● つなげる中で、つくりたいものを思い付く。 ● 思いに合わせて、ポリ袋のつなぎ方を工夫する。 ● 協力してつくり、置いてみたい場所を選び、みんなで形や色を楽しむ。 ● こんなことがあったらいいな、楽しいと思うことについて友人と話し合ったり、物語を考えたりする。 ● 想像したことのうち、一番気に入ったことを選ぶ。 ● 想像した世界の楽しさや面白さを自分なりに工夫して絵に表す。 ● 表したことの楽しさや面白さについて、友人と話し合う。
6月	工作に表す ふわりクルクル風パワー 立体に表す 切ってけずって	<ul style="list-style-type: none"> ● 風の手で踊るように動くポリ袋の動きを知る。 ● ポリ袋やスズランテープなどで、動きに合うような形を作る。 ● 動きを確かめながら、ポリ袋やスズランテープのつなぎ方などを工夫する。 ● 完成した作品を風で動かし、友人と作品の面白さを味わう。 ● 粘土のかたまりを切り糸で様々な形に切ったり、かきべらで削ったりして楽しむ。 ● 切り糸の動かし方によってできる粘土の切り口やかきべらの削り跡を味わったりしながら楽しい秘密の遊び場を発想する。 ● 切ったり削ったりした形を組み合わせ、その形を生かして、楽しい秘密の遊び場をつくる。 ● でき上がった秘密の遊び場について発表し合う。
7月	鑑賞する アートたんけんたい	<ul style="list-style-type: none"> ● 教科書などを見て、身の回りに存在する面白い形や色について興味をもつ。 ● 身の回りにおける自然や人工物などの見方を工夫し、面白い形や色を見つけて写真に撮る。 ● 撮影した写真をワークシートなどにまとめ発表の準備をする。 ● 見つけたものを発表し合い、そのよさや面白さを味わう。
9月	造形遊びをする 光を通して 立体に表す ガラスびんのへんしん	<ul style="list-style-type: none"> ● 光を通すことで色の感じがかわったり色の付いた影ができていたりすることを知り、いろいろな場所で試してみる。 ● ローラーや刷毛、色セロハンなどを使い、光を通した時に美しく見える形や色をつくる。 ● 友人と鑑賞し合ったり、話し合ったりしながら、光を通して出来た作品や場所の変化を楽しむ。 ● 瓶の形や色、ガラスの透き通る感じなどの特徴を基に、つくりたい楽しい人を思い付く。 ● イメージした人になるように、瓶に紙粘土や身近な材を工夫して組み合わせたり、色や模様をつけたりする。 ● 作品を置く場所や置き方を考えたり名前を付けたりして飾る。 ● 友人と作品を見せ合い、それぞれの工夫をとらえる。
10月	絵に表す ざいりょうからひらめき 工作に表す トントンサクサク木の名人	<ul style="list-style-type: none"> ● 集めた材料を並べ触感を味わいながら特徴をとらえる。 ● 材料を組み合わせたり、操作したりしながら、表したい絵を思い付いてかく。 ● これまでの経験を生かし、表したいことに合わせて材料を切ったりつなげたりするなど加工しながら画用紙に貼る。 ● 絵の具やクレヨン・パスなどの描画材で書き加えたりする。 ● 自分の作品に合った題名を付ける。 ● 自分の友人の作品をやさしく触ったり見たりしながら、お互いのよさや工夫したことを話し合う。 ● 金づちの扱い方、釘の打ち方を知る。 ● 釘打ちを試しながら、つくりたいもののイメージを広げる。 ● つくりたいものに合わせて、釘の打ち方、釘の並べ方、木切れのつなぎ方をどのように工夫するか考えて表す。 ● 釘の打ち方を工夫することで、つくりたいものの表情や動きが変わることを知り、試しながら活動に取り組む。 ● 自分の作品や友人の作品のよさについて話し合う。
11月	絵に表す あのときをわすれない 造形遊びをする 自然からのおくりもの	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分の日々の生活を振り返って、自分自身が見たり感じたりして心に残った出来事を思い浮かべる。 ● そのときの心情が伝わるように形や色を考えて絵に表す。 ● 絵の具やサインペンなどを用いて絵に表しながら使い方を試して、イメージや表現を広げて楽しんで表す。 ● 表した絵を飾ったり展示したりして見合い、自分や友人の表し方のよさや面白さを感じ取り、伝えたり話し合ったりする。 ● 身近な場所を見て回り、いろいろな材料を使って作れそうなものについて話し合う。 ● お気に入りの場所を見つけ、身近にある自然の材料を探しながらみんなでつくる。 ● 材料を生かして思い付いたものをつくる。 ● つくりつつある活動を見合ったり、作品について話し合ったりしながら、そのよさや面白さを味わう。 ● 環境を考え、活動を記録し、場所を元通りに片づける。
12月	絵に表す クルクルメカでクルリン 工作に表す ゴムの力でコトコト	<ul style="list-style-type: none"> ● 割りピンを使って絵を回転させることを知り、回転すると面白いものや背景になる画面を思い浮かべる。 ● 割りピンをとめる位置や背景にかくものの配置を考え、試行錯誤しながらかく。 ● 表したいものに合わせて描画材を選びながらかく。 ● 作品を動かしながら友人と見合い、お互いの表現のよさや面白さを感じ取る。 ● 動く仕組みを理解し、おもちゃづくりに興味をもつ。 ● どんな形のおもちゃにするか、考える。 ● 動く仕組みをつくる。 ● 仕組みがスムーズに動かか試してみる。 ● 自分で考えたアイデアを基にして、試行錯誤しながらつくる。 ● できたおもちゃで楽しく遊び、感想を友人と話し合う。

1 月	<p>工作に表す 虫さんランド</p> <p>絵に表す ものかたりのせかい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 教科書を見て、材料を生かした版のつくり方や、様々な刷り方を知る。 ● 材料を工夫して版をつくったり、原版を利用したり、刷り方を工夫したりする。 ● 他の描画材でかき加えたりする。 ● 版づくり、刷り、かき加えの段階などで、友人と見せ合い、工夫した点を話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ● 読んだことのある物語のうち、一番好きな物語を選ぶ。 ● 物語の中でどこが一番好きな場面だったかを考えたり友人と話し合ったりする。 ● 好きな場面がどのような様子か想像して、どんなふうに表示したらよいか考えながら絵に表す。 ● 自分の作品の工夫したところや友人の作品の素敵などころを話し合う。
2 月	<p>造形遊び クミクミックス</p> <p>工作に表す やさしいモンスター</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 牛乳パックをはさみやカッターナイフで様々な形に切って組み合わせていく。 ● 組み方や、つなぎ方を工夫することでできた形からイメージを広げて、大きさのあるものをつくりだす。 ● でき上がった作品を見て回り、同じような工夫や、独自の工夫などについて友人と話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ● やさしいモンスターの得意技などを考え、その姿や動きなどの特徴を想像する。 ● 表したいモンスターになるように芯材の立たせ方を試す。 ● モンスターの姿や動き、やさしさを表す特徴が分かるよう工夫しながら芯材に紙粘土をつける。 ● モンスターの特徴が分かるような飾りや色、模様、ポーズ等を工夫して表す。 ● つくりながら思い付いたアイデアを加えたりして表現を広げる。 ● モンスターに名前を付け、友人に紹介し合うなどして、特徴を表す表現の工夫やよさ、面白さを見つけ合う。
3 月	<p>絵に表す はんをつかって</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 教科書を見て、材料を生かした版のつくり方や、様々な刷り方を知る。 ● 材料を工夫して版をつくったり、原版を利用したり、刷り方を工夫したりする。 ● 他の描画材でかき加えたりする。 ● 版づくり、刷り、かき加えの段階などで、友人と見せ合い、工夫した点を話し合う。